

令和元年度 第1回 新潟市立亀田図書館協議会 議事概要

日 時： 令和元年6月27日（木） 午前10時30分～11時40分

場 所： 江南区文化会館 講座室1

出席者： 新潟市立亀田図書館協議会 田村委員，片山委員，垣内委員，神林委員，渡部委員，荒木委員，浅井委員
事務局 真柄亀田図書館長，神田主任，小林主査，波田野副主査

1 委嘱状の交付

平成31年4月1日付け，補欠選任委員に委嘱状を交付。

2 議事

(1) 平成30年度利用状況報告について

(事務局) 案件概要説明

(渡部委員) レファレンスサービスについて。平成28年度実績から平成30年度実績と令和元年度の目標値をみると，平成29年度が突出している。統計の取り方を変更したとか何か要因があるのか。

また，レファレンスのうち，調査・相談はどういった相談が多いのか。件数が増えれば職員の負担も増えるが，即答できるような相談とかなり時間を要する難しい相談の大きな割合は。

(事務局) 平成29年度は，レファレンスサービスの広報に力を入れた。区役所日より「こうなん」で10月に特集を組んでもらったこともあり，実績が大きく伸びた要因と考えている。平成30年度は，図書館だよりでの広報にとどまったため，大きな伸びはなかった。所蔵調査については，自分で図書館ホームページや館内検索機で資料を探す方が増えており，職員に直接訪ねる人の数は減少傾向だと実感している。

調査・相談については，大きく伸びてきており，サービスが認知されつつあると実感している。相談で多いのは，自分ではなかなか調べられない身近な暮らしに関するものや郷土の歴史・由来を掘り下げて調べたい方からの相談が多い。レファレンス総数のうち，時間を要する調査・相談の割合は多くはないが，他の図書館から資料を取り寄せて時間をかけて調査した案件なども何件かあった。難しい調査・相談は，職員の資質向上にも寄与するので遠慮なく相談してほしい。

(2) 令和元年度事業計画及び予算について

(事務局) 案件概要説明

(渡部委員) 登録者数について。亀田図書館は，江南区文化会館に移転開館以来，右肩上がりが増えてつづけてきている。区の人口が増えている訳ではないのに登録者が増えているのは，亀田図書館に様々な魅力があつてのことと思うし，ブックスタート事業というものを行っているが，登録は0歳からできるのか。

また、登録者の中で、地区図書室にも登録している人の数、割合は把握しているか。資料購入費が削られ厳しい状況の中、登録者が増えれば利用者も増えるので、職員の負担も増えるが、利用者対応や広報活動をしっかりやってほしい。

(事務局) 登録は0歳からできる。ブックスタートの効果もあると思うし、文化会館や同じ敷地内の総合体育館の利用者が図書館へ足を運んで登録されている。また、新潟市外の広域市町村の利用もできるため、道路の利便性が良く、登録も増えている。

亀田図書館と地区図書室の両方で登録している人の数は把握していない。

(神林委員) 資料購入費について。図書館全体の予算をどのように振り分けているのか。

(事務局) 利用者数、地区図書館や地区図書室の数、収蔵可能冊数の割合などを考慮して決めている。

(3) 第三次新潟市子ども読書活動推進計画及び第二次新潟市立図書館ビジョン策定の経過報告について

(事務局) 案件概要説明

(片山委員) 学校貸出図書搬送やオンラインネットワークの図書館間の配本には相当な費用がかかると思うが、資料購入費と比較してどれほどか。

(事務局) 相応の費用がかかっているが、詳細は把握していない。

【事前配布資料】

次第

委員名簿

座席表

資料① 平成30年度 図書館・地区図書室の蔵書・利用状況

資料② 平成30年度 亀田図書館事業報告(速報)

資料③ 平成30年度 新潟市立図書館施策・事業報告シート

資料④ 平成30年度 市民から寄せられた声

資料⑤ 令和元年度 亀田図書館運営方針及び事業計画

資料⑥ 令和元年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

資料⑦-1 「第三次新潟市子ども読書活動推進計画」の策定について

-2 「第三次新潟市子ども読書活動推進計画 H27～H31(概要版)」

資料⑧-1 「第二次新潟市立図書館ビジョン」の策定について

-2 「新潟市立図書館ビジョン(概要版)」

-3 「新潟市立図書館ビジョン 後期施策・事業計画」

-4 「新潟市立図書館利用者満足度調査実施計画」

-5 「新潟市立図書館ビジョン 後期施策・事業計画の成果と課題」